泊発電所３号炉　ＳＡ基準適合性　比較表

灰色：女川２号炉の記載のうち，BWR固有の設備や対応手段であり，泊３号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

第 47 条　原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
(20) 余熱除去ポンプ 型式　うず巻き式 台数　2 容量　約1,020 m^3/h（1台当たり） （安全注入時） 最高使用圧力　4.5 MPa[gage] 最高使用温度　200℃ 揚程　約91 m（安全注入時） 本体材料　ステンレス鋼 大飯 47 条の仕様を再掲		(5) 余熱除去ポンプ 兼用する設備は以下のとおり。 ・重大事故等時に必要となる水源及び水の供給設備 ・余熱除去設備 ・余熱除去設備（重大事故等時） ・非常用炉心冷却設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 型　式　うず巻形 台　数　２ 容　量　約850m^3/h（１台当たり） 最高使用圧力　4.5MPa[gage] 最高使用温度　200℃ 揚　程　約 73m 本 体 材 料　ステンレス鋼	余熱除去ポンプは，第 5.2.2 表　余熱除去設備（重大事故等時）の主要仕様　にも記載しているが，低圧注入系としての使い方と余熱除去運転としての使い方では「容量」「揚程」が異なるため，低圧注入系の主要仕様として記載する。 余熱除去ポンプには，低圧注入系としての使い方と余熱除去運転としての使い方があるが，大飯は 47 条においては，安全注入（低圧注入）としての使い方を記載しているため，（安全注入時）と記載している。泊は，条文毎の記載とはせず，ここでは非常用炉心冷却設備（低圧注入系）の重大事故等時における仕様を記載するため，（　）書きは記載しない。
		(6)　余熱除去冷却器 第 5.2.2 表 余熱除去設備（重大事故等時）の主要仕様に記載する。	
(8) 格納容器再循環サンプ 型式　プール形 基数　2 材料　鉄筋コンクリート 大飯 47 条の仕様を再掲		(7) 格納容器再循環サンプ 兼用する設備は以下のとおり。 ・非常用炉心冷却設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 ・原子炉格納容器スプレイ設備 ・原子炉格納容器スプレイ設備（重大事故等時） 型　式　プール形 基　数　２ 材　料　鉄筋コンクリート	

灰色：女川２号炉の記載のうち，BWR固有の設備や対応手段であり，泊３号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
(9) 格納容器再循環サンプスクリーン 型式　ディスク型 基数　2 容量　約2,540 m³/h（1個あたり） 最高使用温度　144℃ 材料　ステンレス鋼 大飯 47 条の仕様を再掲		(8) 格納容器再循環サンプスクリーン 兼用する設備は以下のとおり。 ・非常用炉心冷却設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 ・原子炉格納容器スプレイ設備 ・原子炉格納容器スプレイ設備（重大事故等時） 型　式　ディスク型 基　数　２ 容　量　約 2,072m³/h（１基当たり） 最高使用温度　132℃ 材　料　ステンレス鋼	
		(9) ほう酸注入タンク 兼用する設備は以下のとおり。 ・非常用炉心冷却設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備 ・原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 型　式　たて置円筒形 基　数　1 容　量　約6.0m³ 最高使用圧力　16.7MPa[gage] 最高使用温度　150℃ ほう素濃度　21,000ppm以上 本体材料　ステンレス鋼	【大飯】 設計方針の相違 ・大飯 3/4 号炉にはほう酸注入タンクがない。
(11) Ａ格納容器スプレイポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 型式　電動作動式 個数　1 最高使用圧力　0.39 MPa[gage] 最高使用温度　144℃ 材料　ステンレス鋼		(10) 安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C／V外側隔離弁 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 型　式　電動式 個　数　2 最高使用圧力　0.4MPa[gage] 最高使用温度　132℃ 材　料　ステンレス鋼	